

1時間の講演と、30分ずつの体験を行いました。防災の学習を毎年行う理由は、つい忘れがちになってしまうからです。そのため、学んだことでできることは、すぐに実行に移すことが大切です。家族で避難場所を話し合ったり、防災用具があるかを確認したり、家具の固定をしたり、災害が来る前に、すぐにできることはあるはずです。準備できることは、なるべく早いうちにしておきましょう。今回、地域の方の話を聞いている様子はどのクラスもとても良かったです。積極的な参加ができていました。「ミラクル」でも同じように、話している人が気持ちよく話せるような対応を心がけましょう。

さて、来週はいよいよ「ミラクル」本番です。人任せにならないように、この土日、グループアースを活用して企業の場所や、その周辺を確認しておきましょう。



☆南海トラフはいつ来るかわからないことなので、今日学んだことを活かして家での対策だったり、知識を身につけておこうと思う。火の消化は簡単なものではなくて、細かい作業が必要で、今回のことでそのやり方がよく分かった。

☆今日わかったことは、災害発生時の「自助」の大切さ。自分で自分を守ることが必要な状況とは、誰も助けてくれない、誰も助けられないという状況なので、しっかり冷静になって、家族と合流することが大切だと思った。

☆個人的には、起震車の体験で学んだことが多かったです。体で覚えるとはよく言いますが、まさにその状態でした。しっかり対策をしないと、被害が大きくなるというのを学びました。